

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公開番号】特開2012-63024(P2012-63024A)

【公開日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2010-205034(P2010-205034)

【国際特許分類】

F 25 D 19/00 (2006.01)

F 25 D 23/06 (2006.01)

【F I】

F 25 D 19/00 530 A

F 25 D 23/06 W

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月29日(2012.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、例えば特許請求の範囲に記載の構成を採用する。一例として、外箱の内側に配置された真空断熱材と、該真空断熱材と前記外箱との間であって且つ前記外箱の前方開口付近の上下に亘って配置された放熱パイプと、を備えた冷蔵庫において、前記放熱パイプは前記前方開口に近づくように折り曲げた曲折部を有し、前記真空断熱材は前記放熱パイプを上下に亘って覆うように、前記前方開口側に開放した端部凹部を有し、低温度となる部分に配置される前記放熱パイプは、前記外箱の前記前方開口に近づけて配置する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外箱の内側に配置された真空断熱材と、該真空断熱材と前記外箱との間であって且つ前記外箱の前方開口付近の上下に亘って配置された放熱パイプと、を備えた冷蔵庫において

、前記放熱パイプは前記前方開口に近づくように折り曲げた曲折部を有し、

前記真空断熱材は前記放熱パイプを上下に亘って覆うように、前記前方開口側に開放した端部凹部を有し、低温度となる部分に配置される前記放熱パイプは、前記外箱の前記前方開口に近づけて配置したことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項2】

前記放熱パイプは前記端部凹部の中央寄りに配置されて、前記低温度となる部分に配置される前記放熱パイプは前記端部凹部の先端側に配置されたことを特徴とする、請求項1記載の冷蔵庫。